



2026年5月13日

各位

会社名 株式会社日本マイクロニクス
代表者名 代表取締役社長 長谷川 正義
(コード番号6871東証プライム市場)
問合せ先 取締役上席執行役員管理本部副本部長 片山 ゆき
(TEL.0422-21-2665)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年2月13日に公表した業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2026年12月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2026年1月1日～2026年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	43,900	12,300	11,800	8,200	211.75
今回発表予想 (B)	45,700	12,900	12,700	9,200	237.33
増減額 (B-A)	1,800	600	900	1,000	
増減率 (%)	4.1	4.9	7.6	12.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2025年12月期第2四半期)	33,120	7,569	7,394	4,774	123.44

2026年12月期第3四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2026年1月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	71,600	21,900	21,400	15,200	392.11
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期第3四半期実績 (2025年12月期第3四半期)	50,412	11,300	11,273	7,084	183.02

2. 修正の理由

当社グループが属する半導体市場の直近の環境及び動向を踏まえ、業績予想を精査した結果、前回公表した2026年12月期第2四半期累計連結業績予想を修正することといたしました。あわせて、2026年12月期第3四半期累計連結業績予想を新たに開示いたします。

第2四半期累計の売上高は、主としてメモリー向けプローブカードの生産能力拡大により、DRAM向け製品が好調に推移しており、従来予想を上回る見込みです。これに伴い、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益についても、いずれも前回予想を上回る見通しです。

第3四半期につきましては、メモリー向けプローブカードの高水準の需要が継続することに加え、生産能力増強の効果により、売上高・利益ともに堅調に推移する見込みです。

通期売上高については、投入した設備の立ち上がり順調に進んでいることを背景に、従来想定していた2024年から2025年にかけての当社売上高成長率26%を大きく上回る見通しです。なお、2026年のプローブカード市場成長率は2025年比+14%と予測しておりますが、実際の市場成長率が当社の想定を下回った場合には、通期売上高見通しに影響を及ぼす可能性があります。

また、当社グループにおいては、現時点で中東情勢の緊迫化による事業活動への直接的な影響は限定的と認識しております。一方で、半導体市場における設備投資動向の変化、物流の混乱、エネルギー価格及び原材料

価格の上昇などが事業環境に影響を及ぼす可能性があることから、引き続き関連動向を注視してまいります。

- (注) 1. 当社グループは、各四半期の決算発表時点で2四半期先の業績予想を開示しております。
2. 上記の業績予想等は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上